



BOOK

博報堂 広報室
HAKUHODO
Corporate Public Relations Division
tel:03-6441-6161 fax:03-6441-6166
www.hakuhodo.co.jp

2016年4月27日

【新刊発売のご案内】

『榎本卓朗の仕事』

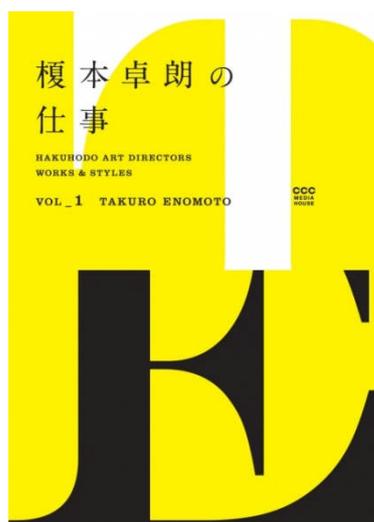
HAKUHODO ART DIRECTORS WORKS & STYLES
VOL_1 TAKURO ENOMOTO

博報堂のアートディレクターの仕事を紹介するシリーズ本“HAKUHODO ART DIRECTORS WORKS & STYLES”の第1弾『榎本卓朗の仕事』を出版いたしましたので、お知らせいたします。

榎本卓朗は博報堂のクリエイティブを牽引するアートディレクターのひとり。本書では、榎本の代表作、手描きコンテ、撮影の現場など、プロの「広告職人」たる仕事ぶりを、さまざまな角度で紹介しています。

グラフィック制作とTVCM制作の両方を手がけるマルチプレイヤーとして活動する榎本が語る、アートディレクターという仕事、広告、クリエイティブ業界への取り組み方についての想いや、学生時代の絵日記や彼の作品を通じて、榎本の持つ「届ける力」の根源を探る一冊となっています。

本書が、これから広告作りを目指す方々に、少しでもお役に立つことができれば幸いです。



『榎本卓朗の仕事』

HAKUHODO ART DIRECTORS WORKS & STYLES
VOL_1 TAKURO ENOMOTO

ページ数： 172 ページ

定 価： 1600 円+税

発行：CCC メディアハウス

書店発売日： 2016 年 4 月 27 日

目次

TVCMとポスター

大塚製薬 『Calorie Mate』 /
インタビュー 上野隆信 (大塚製薬 ニュートラシューティカルズ事業部宣伝部課長) /
大塚食品 『MATCH』 / 日野自動車 『HINO DUTRO』 /
インタビュー 横澤宏一郎 (クリエイティブディレクター) /
Kracie 『HIMAWARI』 / フルスロットルズ 『Dress MAX』 / 味の素 『クノール カップスープ』 /
ソニー・コンピュータエンタテインメント 『Playstation2』 / AD榎本とはどんな男か？

コンテとイラスト

榎本が自らコンテを描き続けるわけとは？ / 入魂のコンテから生まれた、奇跡の黒板アート

アートディレクター榎本卓朗とは？

創作の拠点、“広告トキワ荘” / インタビュー 福部明浩 (クリエイティブディレクター) /
インタビュー 目々澤英樹 (キャバツデザイン代表) / インタビュー 尾形真理子 (コピーライター) /
日記が物語る、榎本卓朗とは誰か？

Biography

ジャッキー・チェンになりたかった / CM企画“1000本ノック”時代 /
C&ADのコンビで、アイデアを磨き上げる / 格好いい絵を描くより、まず人間を描きたい

グラフィック、ウェブCMの現場

日本野球機構 野球日本代表 『侍ジャパン』 /
JT hi-lite 『RUM MENTHOL』 / JT hi-lite 『INAZUMA MENTHOL』 /
SUNTORY C.C.Lemon 『新・新・Lemon』 / NPO 法人 NEWVERY 『トキワ荘プロジェクト』 /
味の素 クノール 『スープDELI』 / 三菱地所 『スノーモンキー東京へ行く』

あとがき

著者プロフィール

榎本 卓朗 アートディレクター

1977年、宮崎県生まれ。2000年に東京工芸大学芸術学部デザイン科を卒業後、博報堂に入社。現在、シニアアートディレクターとしてグラフィック制作とTVCM制作両方を手がける稀有なマルチプレイヤーとして、博報堂を代表するヒット広告を連発している。主な仕事に大塚製薬「カロリーメイト」、大塚食品「MATCH」、日野自動車「HINO DUTRO」、kracie「HIMAWARI」など。受賞歴は東京ADC賞、ACC賞金賞、タイムズアジアパシフィック広告賞金賞、ニューヨークADC賞銀賞、ロンドン国際広告賞銀賞、テレビ広告電通賞、ギャラクシー賞ほか多数。